

調査の概要

調査対象 市内在住（市内に住民票がある人）の20歳以上の男女
調査方法 無作為抽出による郵送配布・郵送回収
調査期間 平成22年1月10日（日）～平成22年1月25日（日）
発送数 1,300通
有効回収数 572人
有効回収率 44.0%

調査結果を見るときにの注意事項

*端数処理の都合上、合計が100%にならない場合があります。
 *複数回答が可能な場合は、合計が100%を超えることがあります。

ホームページで見ることができます

市民意識調査の結果はホームページでも見ることができます。
 HP <http://www.city.makinohara.shizuoka.jp>

「住み続けたい」が7割以上

市では、市民が市の取り組みについてどのように考えているかを調査する平成21年度「市民意識調査」を実施しました。その結果がまとまりましたので報告します。この結果は本年度作成される市総合計画の後期基本計画（まちづくりの計画）に反映していきます。

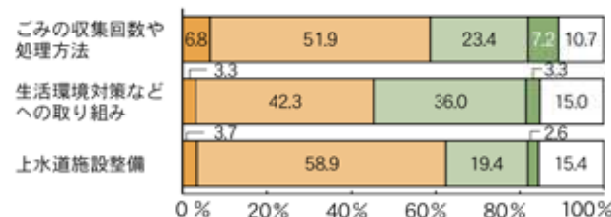
問い合わせ 経営企画室 大石 ☎ (23) 0040

市の取り組みのうち、50項目について満足度と重要度の調査をしました。調査結果から重要度が高かった項目の満足度と各分野ごとの状況について報告します。
 *各分野の各項目は重要度の高い順に並べています。

6. 市の各取り組みに対する満足度について

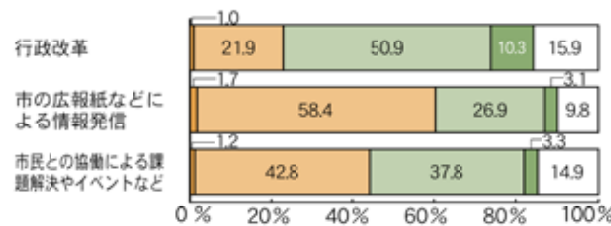
生活環境

この分野では、ごみの収集回数や処理方法と上水道施設整備の満足度がともに約6割と高かった



自治体体制の強化

この分野では、広報紙などによる情報発信の満足度は約6割と高く、行政改革の取り組みの満足度は約2割と低くなっている



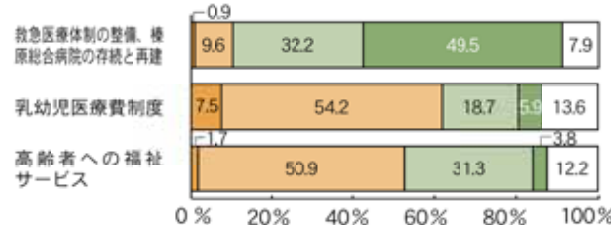
まちの活性化

この分野では、企業誘致や観光誘客の取り組みの満足度は、約2.5割と最も低かった



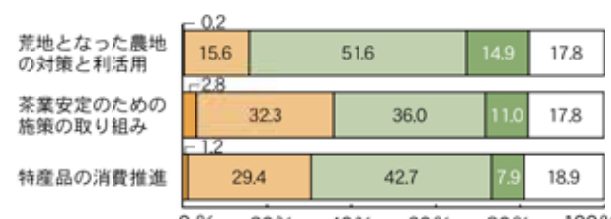
健康福祉

この分野では、救急医療体制の整備、榛原総合病院の存続と再建の満足度は約1割とすべての項目の中で最も低く、重要度は最も高かった



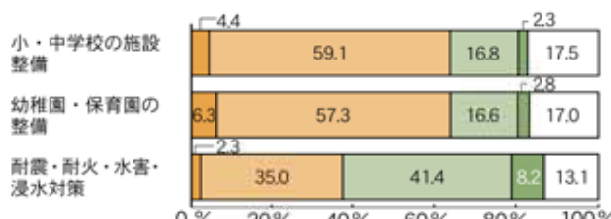
地場産業などの活性化

この分野では、荒地となった農地の対策と利活用の満足度が約1.6割と最も低かった



安全安心社会

この分野では、幼稚園・保育園の整備と小・中学校施設の整備の満足度は約6割と高かった

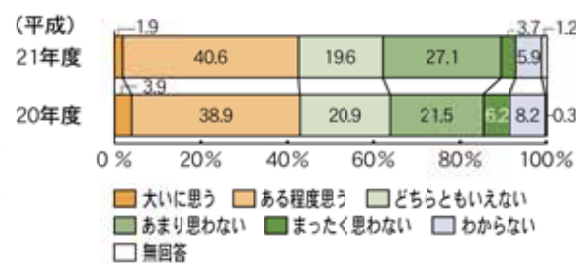


■ 充分満足 ■ 満足 ■ 不満 ■ 大変不満 □ 無回答

5. 情報について

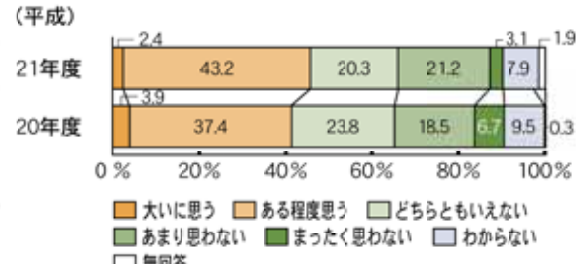
市からいろいろな情報が発信されていると思いますか

情報発信されていると思う人が4割



市からの情報が役に立っていますか

情報が役に立っていると思う人も4割



市での取り組みや行事を何に

広報紙により市の取り組みを知る人が圧倒的に多い

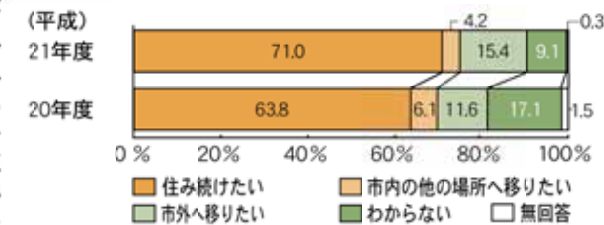
	平成21年度	平成20年度
広報紙	76.4%	71.8%
家族や知人など	33.2%	32.5%
議会だより	32.9%	30.7%
区などの会合	28.0%	28.4%
新聞・テレビなど	20.6%	17.6%
ホームページ	6.6%	7.7%
公民館など	4.9%	9.8%
議員の話	4.5%	3.7%
グループの会合	3.0%	3.5%
市職員の話	2.4%	2.8%
特になし	5.2%	0.9%
その他	2.8%	7.8%
無回答	0.7%	1.0%

*複数回答が可能なため合計が100%を超えています。

1. 牧之原市に住むことについて

住み続けたいですか

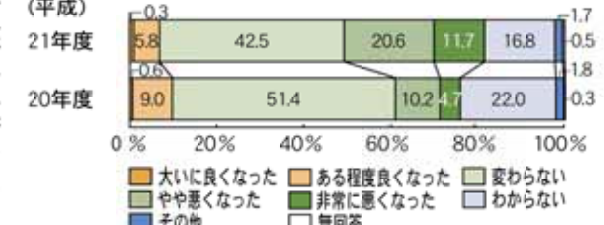
住み続けたいが7割以上



2. 市政の変化について

合併後、市政がどのよう

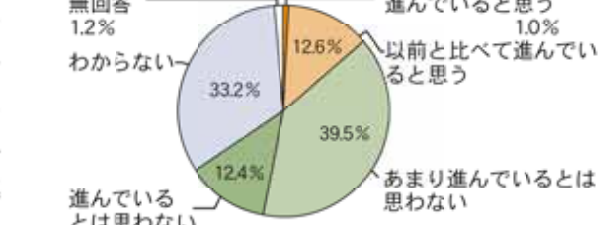
良くなったかは、1割未満



3. 協働について

市と市民の協働が進ん

進んでいないが半数



4. 行政サービスについて

厳しい財政の中行政サ

経費削減と現状を市民に知らせることがともに3割弱で拮抗

